

東京ガス株式会社との「ゼロカーボン・エコダイラシティ」の  
実現に向けた包括連携に関する協定の締結について

1 背景及び目的

市では令和 4 年 2 月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを表明した。また、令和 5 年 3 月には小平市地域エネルギービジョンの見直しを行い、令和 12(2030)年度までの市全体の二酸化炭素排出量の削減目標について、平成 25(2013)年度比 50%に変更するとともに、事業者としての小平市の取り組みについて定めるエコダイラ・オフィス計画についても見直しを行い、平成 25(2013)年度比 51%に変更したところである。

実質ゼロカーボン達成に向けては、家庭・業務部門における省エネの取組や再生可能エネルギー導入の働きかけ、公共施設への再生可能エネルギーの調達を加速させる必要があり、先進的な取組と知見を有するエネルギー事業者との連携が重要となっている。

この点東京ガス株式会社とは、ガスの供給以外にも、環境イベントや市総合防災訓練への出展、環境学習講座を共同で開催してきたほか、災害対策・高齢者等の見守り対策の取組について協定書を締結した連携等があり、長年にわたり市全般において良好な関係を継続している。

また、当該事業者は関東地方最大のガス供給事業者として、さまざまな先進的な取り組みを行い、情報やノウハウを蓄積しており、連携・協力することにより、カーボンニュートラル都市ガス、再エネ電気を含むエネルギー供給の安定性と確保、災害・緊急時のエネルギー供給や防災強化、地域経済の活性化、環境負荷の低減設備等に関する情報提供、当該事業者のネットワークを活用した広報支援などの効果が期待できる。

以上のことを踏まえ、ゼロカーボン・エコダイラシティの実現に向けて一層強固な協力関係を構築するため、東京ガス株式会社と包括的な連携に関する協定締結を行う。

2 協定書の概要

(1) 協定書名称

小平市と東京ガス株式会社との「ゼロカーボン・エコダイラシティ」の実現に向けた包括連携に関する協定書

(2) 締結の相手方

相手方：東京ガス株式会社 代表執行役社長 笹山晋一

所在地：東京都港区海岸 1-5-20

(3) 締結期間

令和 5 年 11 月 22 日から (1 年間・自動更新)。

(4) 連携事項 (第 1 条関係)

他自治体の先行事例を参考に、今後の取組の可能性も含め、総括的、網羅的内容とした。連携事項については以下のとおり。

(連携事項)

- (1) 「ゼロカーボン・エコダイラシティ」の実現に向けた全般に関する事項
- (2) エネルギーの地産地消に関する事項
- (3) 個人、事業者への太陽光発電設備等の普及に関する事項
- (4) 低炭素エネルギーの調達や公共施設等への提供に関する事項
- (5) エネルギーデータの活用等によるエネルギー最適化に関する事項
- (6) 地域の防災機能強化等レジリエンス強化に関する事項
- (7) 地域の目線で新しい価値や営みを創る価値共創に関する事項
- (8) 環境学習や食育などによる啓発活動に関する事項
- (9) 「ゼロカーボン・エコダイラシティ」の実現のための専門的人材の支援強化に関する事項
- (10) 「ゼロカーボン・エコダイラシティ」の魅力等の情報発信に関する事項
- (11) その他市民へのサービス向上や、「ゼロカーボン・エコダイラシティ」の実現のため、本協定当事者が必要と認める事項

3 締結式

日 時 令和5年11月22日(水) 13時～14時  
会 場 小平市役所 第一応接室

4 今後の予定

11月22日 包括連携協定締結式(締結日)  
11月22日 ホームページ更新  
12月5日 市報掲載